

自治体支援フォーラム ～新技術導入研究・意見交換会～ 開催結果

- 12月18日(月)、自治体同士で新技術等導入における経緯、課題、解決策等を共有し、課題を解決するアイデア等を生み出すフラットな交流の場として「**新技術導入研究・意見交換会**」を品川区で開催した。
- 今後は本フォーラムでの議論を踏まえて、維持管理分野への新技術導入において各自治体が抱える課題を整理していき、**各課題を解決する取組事例について研究を深め、横展開**を図ることとした。

〈プログラム〉 趣旨説明、取組紹介（土木学会、先進自治体）、班別討議、意見交換会、まとめ
 〈参加者〉 62名（メンター2名、自治体32名（18自治体）、国民会議運営・国土交通省28名）

土木学会・先進自治体の取組紹介

公益社団法人土木学会
 「社会インフラ健康診断」を通じたインフラの老朽化の現状とメンテナンスの必要性や課題の認識等を説明
 「社会インフラ健康診断」表紙と健康診断評価指標

部門	施設の健康度				
	A 健全	B 良好	C 要注意	D 要警戒	E 危惧的
道路	ほとんどの施設で劣化が生じていない状況	ある程度の施設で劣化が生じている状況	少なくない数の施設で劣化が進行し、早めの維持が必要となる状況	多くの施設で劣化が顕著化し、維持・修繕などの対応が必要となる状況	全体的に劣化が進行し、早急な対応が必要となる状況
下水道	ほとんどの施設で劣化が生じていない状況	ある程度の施設で劣化が生じている状況	少なくない数の施設で劣化が進行し、早急な対応が必要となる状況	多くの施設で劣化が顕著化し、維持・修繕などの対応が必要となる状況	全体的に劣化が進行し、早急な対応が必要となる状況
河川	ほとんどの施設で劣化が生じていない状況	ある程度の施設で劣化が生じている状況	少なくない数の施設で劣化が進行し、早急な対応が必要となる状況	多くの施設で劣化が顕著化し、維持・修繕などの対応が必要となる状況	全体的に劣化が進行し、早急な対応が必要となる状況

施設の維持管理体制
 (改善見込み) (現状維持見込み) (悪化見込み)
 現状の管理体制が維持は、現状の管理体制が維持は、現状の管理体制が改善され健康状態が改善に向かうと考えられる状況
 現状の健康状態が維持は、現状の健康状態が維持は、現状の健康状態が悪くなる可能性がある状況

品川区
 ICTを活用した「道路パトロール支援サービス」による新たな点検手法の導入を検討した取組等を説明
 「道路パトロール支援サービスの活用」概要

車での移動中 道路点検情報を収集
 富士通クラウド 劣化状態を自動的に推定
 位置(GPS) 揺れ(加速度) 写真 コメント
 パトロール先 写真 コメント
 道路の劣化状態の確認 簡易報告書の作成
 住居要望の受付～対応指示～対応結果までを一元管理
 計画の見える化 立案の効率化
 現場確認 写真確認

千葉県
 市民がスマートフォンでインフラの不具合を通報して課題を共有する「ちばレポ」の運用の工夫等を説明
 「ちばレポ」コンセプト

1 地域に利する課題発見
 2 市民によるレポート
 3 Web公開
 4 仕分け
 5 市民協働による解決
 5 行政による解決
 市民の力を発揮できる課題
 市民の力
 市役所の役割

班別討議

- 新技術導入のメリット、期待される効果を把握することが難しい
- 直轄現場での新技術の実証結果等が自治体に共有できれば住民説明の材料になる
- 30代、40代の技術者が少ない中でどのように技術継承を図っていくかが課題
- LCC・アセットマネジメントの考え方を導入するために情報共有をどう進めるか(討議結果より抜粋)



意見交換会（メンター・先進自治体・国土交通省）

- 土木学会 塚田 幸広 氏 「新技術導入にはそのメリットの説明が重要。次世代の技術者が新技術導入を求めている」
- 品川区 多並 知広 氏 「ICT活用によりデータが蓄積されてきた。またこのような場で次の展開を議論したい」
- 千葉県 大森 信人 氏 「新技術導入により業務が発生することも多いが全体の効率化を図る上で関係者の理解が必要」
- 東京都市大学 皆川 勝 氏 「技術継承には今後ICT等の民のコンテンツと学の持つ教え方の技術との融合が必要」
- 国土交通省 鈴木 学 氏 「自治体間の情報共有に国民会議を有効活用頂ければ、今後も継続参加をお願いしたい」

